

公定歩合引下げ等に関する政策委員会議長談

(昭和55年11月5日)

個人消費などの国内最終需要の伸び悩みと在庫の調整から景気拡大のテンポが鈍化しているなかで、物価面では卸売物価が鎮静傾向を続けており、消費者物価の騰勢も鈍化の方向にある。この間、為替市場は総じて落ち着いた推移を示している。

こうした情勢にかんがみ、日本銀行は公定歩合を1.0%引下げて7.25%とする(11月6日実施)とともに、準備預金制度の準備率を別紙のとおり引下げる(11月16日実施)ことを決定した。また本日大蔵大臣から預金金利の変更に関する発議を受け、直ちに金利調整審議会に諮問を行った。

日本銀行としては、わが国経済の安定的な成長を図るため、総需要を適正な水準に維持しつつ、物価の鎮静傾向を定着させることが肝要と考えており、こうした見地から引続き物価、為替相場および景気などの動向を十分注視しながら、金融政策を適切に運営していく方針である。

以上

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和55年11月6日実施)

- | | | |
|---|--------|-----------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 | 年7.25% | (1.0%引下げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 | 年7.5% | (1.0%引下げ) |

準備預金制度の準備率の変更

(昭和55年11月16日実施)

1. 預金(外貨預金および非居住者自由円預金を除く)の残高についての準備率

指定金融機関	預金残高区分	預金区分	準備率
銀行 長期信用銀行 外国為替銀行	2兆5,000億円超	定期性預金	1.75%(0.25%引下げ)
		譲渡性預金	1.75%(0.25%引下げ)
		その他の預金	3.25%(0.5%引下げ)
	8,000億円超 2兆5,000億円以下	定期性預金	0.75%(0.25%引下げ)
		譲渡性預金	0.75%(0.25%引下げ)
		その他の預金	2.0%(0.25%引下げ)
8,000億円以下	定期性預金	0.25%(据置)	
	譲渡性預金	0.25%(据置)	
	その他の預金	1.0%(0.25%引下げ)	
相互銀行 信用金庫	8,000億円超	定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.0%(0.25%引下げ)
	1,200億円超 8,000億円以下	定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.0%(0.25%引下げ)
農林中央金庫		定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.0%(0.25%引下げ)

2. 債券の残高についての長期信用銀

行および外国為替銀行の準備率 0.25% (0.25%引下げ)

3. 金銭信託(貸付信託を含む)元本の

残高についての準備率 0.25% (0.25%引下げ)

4. 外貨預金等および非居住者自由円

債務の残高についての準備率

(1) 外貨預金等についての準備率 0.25% (据置)

(2) 非居住者自由円債務について
の準備率 0.25% (据置)